

公益財団法人水島地域環境再生財団
令和 5 (2023) 年度 事業報告書

総括

長年の調査研究の成果を事業獲得に発展させ、チャレンジすることができたとも言える年であったものの、今後克服すべき課題も残されている。海ごみの問題解決に向けて、陸域からの発生抑制に力を入れ、県のモデル事業や TOTO 水環境基金の助成金による「海ボウズプロジェクト」を進めるなど具体的な活動と市民参加のしくみづくりを試みた。

環境保健分野では様々な機関と協働する水島の事例が注目され、公害健康被害予防事業協働マニュアル作成業務受託 2 年目として、自治体職員と NPO 等とが協働するための手引きを完成させた。

「みずしま資料交流館（愛称：あさがおギャラリー）」の 2022 年オープンからのべ 1,555 人の来所があった。開館 1 周年記念には哲学カフェを開く等、対話の場として活用を模索してきた。

「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」や「水島まちづくり協議会」の活動に積極的に関り、地域再生に向けて取り組む、行政・団体・個人との連携を深めた。

財政的には、倉敷医療生活協同組合との連携を深めることでの支出の見直しや、講師・研修活動等の強化により一定の成果を挙げたが、赤字の体質を改善するには至らなかった。

公益目的事業 1

(1) 公害地域の再生・地域づくりに関わる調査研究および活動

「海ごみ」に関する分野では岡山県や民間活動団体等の委託をうけ、調査活動と普及啓発事業を実施した。陸域からの発生抑制を市民参加型で取り組むプロジェクトを始めた。地球環境基金の助成活動は 3 年目として公害資料館活動を展開した。「地域カフェ」の成果として作成した「水島メモリーズ」が好評だった。

①岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度評価分析と活用事業

事業内容	日本共産党岡山県議団の政務調査費事業として「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を行い、報告書を作成した。(2010 年度から実施継続) 気候危機啓発パンフレット「岡山から気候危機を打開する 岡山プラン 2030 戦略」の監修をした。
------	---

②瀬戸内海における海ごみ削減に向けた実態把握調査及び実践活動

事業内容	調査・実践活動 ① 漂着ごみ回収・調査事業 岡山県の事業を受託し、鹿久居島（備前市）、牛窓（瀬戸内市）、下津井（倉敷市）の 3 海岸で漂着ごみの実態把握調査を実施し、目視調査で 24 地区（28 地点）を調査した。調査結果を報告書にまとめた。昨年度に比べてごみの回収量は減少しており、これは「オーシャンズ X（日本財団と瀬戸内 4 県）」による大規模な海岸清掃活動の増加や、2023 年度は台風や大雨が少なかったため、陸域からの流出が例年に比べて少なかったことが要因として考えられた。 ・ 8/24 牛窓海岸調査 ・ 11/6 鹿久居島海岸調査 ・ 12/4 下津井海岸調査 ・ 目視調査（11/21、2024/1/18、19、22、23、2/19、20） ②令和 5 年度 河川ごみ等回収・発生抑制モデル事業
------	---

岡山県の事業を受託し、岡山県内で3つのモデルで、地域住民や高校生などと連携した継続的な用水路ごみの回収の取り組みの実証実験を行った。特に公民館を拠点に地域住民や学校と連携したモデルは評価が高く、今後の展開が期待できるものとなった。取り組みの成果を令和6年2月に実施された「瀬戸内海 海ごみ・プラごみ削減フォーラム in おかやま」で報告するとともに、今後の展望を含めた報告書を作成した。

- ① 地域の公民館を拠点に学校や町内会などと連携したモデル（倉敷市福田公民館（6/25、8/20、10/7-8、12/3）、岡山市御南西公民館（5/20、5/28、12/17）
- ② 地域の協同組合組織等と連携したモデル（倉敷医療生協：6/25、7/30、8/27、11/8）
- ③ 地域の市民活動団体等と連携したモデル（岡山科学技術専門学校：10/10、10/17、10/24、10/31）
・2/23（金・祝）海ごみ・プラごみ削減フォーラム（岡山県主催）（展示、報告）

③ごみの性状分析調査（団体支援）

「グリーンパートナーおかやま（清掃ボランティア団体）」が旭川の河川敷で実施した「旭川クリーン大作戦」で回収したごみの性状分析調査を実施した。調査結果を取りまとめた報告書を作成した。

- ・ 11/26 旭川河川敷清掃活動・調査

④TOTO 水環境基金助成金

身近な用水路や小河川等、手の届くところでのごみ回収を定期的に行うことで、陸域からの発生抑制と海ごみ問題に取り組む人材育成を目的とした「海ボウズプロジェクト」を2023年度からスタートさせた。TOTO 水環境基金助成を受け、全11回の清掃活動と活動報告会（2024/2/23）を開催し、189名の参加と489kgのごみを回収するなどの成果を挙げることができた。

- ・ 4/30（土）10：00～11：30 海ボウズプロジェクト（プレ企画 西富井地区）
- ・ 5/21（土）10：00～12：30 第1回 海ボウズプロジェクト（福田地区）
- ・ 6/24（土）13：30～16：00 第2回 海ボウズプロジェクト（八間川大根洗い場）
- ・ 7/15（土）10：00～12：00 第3回 海ボウズプロジェクト（八間川水島支所前）
- ・ 8/19（土）9：00～11：00 第4回 海ボウズプロジェクト（八間川大根洗い場）
- ・ 9/30（土）10：00～12：00 第5回 海ボウズプロジェクト（福田地区）
- ・ 10/28（土）10：00～12：00 第6回 海ボウズプロジェクト（八間川大根洗い場）
- ・ 11/25（土）10：00～12：00 第7回 海ボウズプロジェクト（八間川遊水池）
- ・ 12/16（土）9：00～12：00 第8回 海ボウズプロジェクト（沙美海岸）
- ・ 2024/1/27（土）10：00～12：00 第9回 海ボウズプロジェクト（雨天により中止）
- ・ 2024/2/24（土）10：00～12：30 第10回 海ボウズプロジェクト（福田地区）
- ・ 2024/3/6（水）TOTO 水環境基金 2024年度助成先団体交流会（福岡県小倉市）
- ・ 2024/3/9（土）10：00～11：30 第11回海ボウズプロジェクト（八間川水島支所前）
- ・ 2024/3/23（土）14：00～16：00 海ボウズプロジェクト 活動報告・交流会（水島愛あいサロン）

④その他、海ごみに関する活動

- ・ 笹川科学研究助成

2022年度に助成を受けて実施した事業「高校生による浅海域の底質中マイクロプラスチックの空間的・時代的分布調査～地域社会の意識変革に向けて～」が評価され、「笹川科学研究助成奨励賞」を受賞した。その報告会を倉敷古城池高校で開催した。

- 4/21（金）笹川科学研究助成 研究奨励の会に出席

	<p>6/15（木）笹川科学研究助成奨励賞報告会を開催（15名参加）</p> <p>・2024/1/11（木）知事と一緒に生き活きトーク（寄島）</p>
--	--

③資料保存・整理・活用・資料館づくり

事業内容	<p>地球環境基金の助成を受けて、「コンビナート地域におけるSDGsの実現を目指した協働の取り組み～大気汚染公害資料館設立に向けて」の活動3年目として、活動1と活動2の区分で下記事業を行った。資料交流館運営委員会を10/14（土）に開催し、運営について検討した。</p> <p>活動1：公害経験の収集・整理・共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域カフェの開催3回 <ul style="list-style-type: none"> 第9回 高梁川と真備の巻（5/21）倉敷市真備公民館川辺分館 参加者10名 第10回 呼松の巻（8/3）呼松コミュニティーハウス 参加者14名 第11回 旧中山家住宅の巻（2024/3/15）旧中山家住宅 参加者9名 ・『水島メモリーズ』各回5000部 <ul style="list-style-type: none"> 亀島山地下工場編（2023/5発行）プラス1000部増し刷り 高梁川と水害編（2023/7発行）プラス1000部増し刷り 呼松の今昔編（2024/1発行） ・みずしま資料交流館1周年イベント（10/14）哲学カフェ「過去を伝える意味って？」 <ul style="list-style-type: none"> 講師：松川えり氏 参加者25名 ・第1回あさがおカフェ（2024/3/25）「ジェンダーと防災」講師：はっとりいくよ 参加者16名 ・目録点数（3/31現在）書籍 1,985点 資料 5,737点 ・岡山あさひ法律事務所から倉敷公害訴訟弁護団の資料を受け入れ（30箱） ・資料館パンフレット作成 21,000枚 <p>活動2：公害関係資料を活用した学習の展開</p> <p>企画展「水島の公害と住民運動の原点・呼松ー呼松エピソードから60年ー」（2024/3/20～30）来館者110名（内、展示解説25日に参加した人が26名）企画展に先立ち、みずしま資料交流館1周年イベントでも呼松の絵画などのミニ展示会を開催した。</p> <p>私立灘高校2年生13名の受入を行った。</p>
-------------	--

④水島地域のまちづくりと関連させた八間川調査

事業内容	<p>① 八間川調査隊</p> <p>倉敷市環境学習センター登録団体連携講座事業として八間川調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/24 第72回八間川調査隊 25名（親子6組、スタッフ、講師含む）参加 ・8/26 第74回八間川調査隊（エコサマースクールとして募集）小学生12名、保護者11名、ボランティア高校生2名、スタッフ（講師含む）10名、合計35名。 ・2024/2/10 倉敷市環境学習センター登録団体交流会に参加・活動報告 <p>② 水島コンビナート環境学習ツアー</p> <p>私たちの暮らしとコンビナートとのつながりを考える倉敷市内の親子向け環境学習ツアーを倉敷市環境学習センター登録団体連携講座事業として実施した。JFE スチール西日本製鉄所の工場見学と、岡山県環境保全事業団水島処分場を見学し、生産と廃棄の現場で学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/22 水島コンビナート環境学習ツアー 38名参加（親子15組、スタッフ含む）
-------------	---

	<p>③意見提出・委員会等活動</p> <p>調査研究活動等で得られた知見、各種行政の審議会・委員会等の場で意見や提言をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営委員会 ・岡山県河川整備検討委員会 ・おかやま環境教育ミーティング実行委員 ・岡山県環境審議会 廃棄物部会、政策部会 ・倉敷市生物多様性審議会 ・8/17、2024/2/9 岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会
--	--

(2) 公害経験や公害地域の再生・地域づくりに関わる情報交流事業

国・地方自治体が、ともに取り組みを重視する ESD、SDGs の普及啓発事業を当財団の実施課題として検討を進め、地域の各団体と連携して取り組みを進めた。

各種活動の成果を広めるため、広報誌「たより」を継続発行するとともに、HP、SNS 等での発信を行った。

①公害地域再生・地域づくりに関わる市民活動団体等への運営支援・連携

<p>事業内容</p>	<p>水島を中心に岡山、倉敷地域で活動する市民団体・グループの活動を支援し、環境保全・地域づくりの活動のレベルアップを目指した取り組みを進めた。</p> <p>連携先団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水島まちづくり協議会 ・STOP 温暖化くらしき実行委員会 ・倉敷・総社温暖化対策協議会 ・おかやま環境教育ミーティング実行委員会 ・グリーンパートナーおかやま ・(一社) 高梁川流域学校 ・水島おかみさん会 (水島お雛めぐり) ・ミズシマ・パークマネジメント Lab. ・日本科学者会議岡山支部 ・公害資料館ネットワーク <p>展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/8 (火) おかやま環境教育ミーティングに参加・出展 (岡山コンベンションセンター) ・9/17 (日) くらしき環境フェアに参加・出展 (福田公園) ・9/23-24 (土・日) 高梁川流域 SDGs フェスタ (イオン倉敷) ・10/7-8 (土・日) 倉敷市立福田公民館祭りに出展 (福田公民館) ・12/10 (日) グリーンコープ生協おかやま 20th アニバーサリーマーケットに出展 (コンベックス岡山) ・2024/2/23 (金・祝) 海ごみ・プラごみ削減フォーラムに出展・報告 (岡山コンベンションセンター) ・2024/3/16 (土) 第 8 回生き生きフェスタ in 児島 (岡山県地方自治研究集会 2024) に出展 (児島市民交流センター)
--------------------	---

②ESD、SDGsの実現に向けた普及・啓発事業

事業内容	<p>SDGsをキーワードに、持続可能な地域を目指した取り組みを進めることができた。</p> <p>①高校生のための高梁川流域勉強会</p> <p>持続可能な瀬戸内海をめざして、倉敷古城池高等学校の通生海岸での生物・海ごみ調査を支援するとともに、高梁川流域の高校生が海・川・生きものについて学び、研究する勉強会を開いた。</p> <p>※（公財）夢&環境等支援宮崎記念基金助成事業</p> <ul style="list-style-type: none">・通生海岸調査（5/4（木）、9/23（土）、11/19（日））・高校生のための高梁川流域勉強会 <p>第1回「研究っておもしろい！わからないことを調べる姿勢」</p> <p>7/24（月）14：00～16：00、於：倉敷古城池高校生物室</p> <p>講演「研究するってどういうこと？最新研究（水生ミミズと排水処理）から」</p> <p>講師：赤木知裕氏（和歌山県工業技術センター 主任研究員）</p> <p>参加者：20名（会場15名（内高校生3名）、オンライン5名（内高校生4名））</p> <p>第2回「”豊かな海”について、考えよう ～瀬戸内海の現状から～」</p> <p>11/11（土）14：00～16：00、於：倉敷古城池高校生物室</p> <p>講演①「30年後の世界の海は？ ～森里海をつなぐ物質循環の視点から～」</p> <p>講師：田中丈裕氏（特定非営利活動法人里海づくり研究会 議事理事・事務局長）</p> <p>講演②「技術の習得方法 ～アマモやテナガエビから教えてもらったこと～」</p> <p>片山貴之氏（同研究会 議事）</p> <p>参加者：18名（会場16名、オンライン2名）</p> <p>倉敷古城池高校、井原高校、倉敷南高校、岡山大学生、社会人が集まった。</p> <p>第3回 高校生のための高梁川流域勉強会 発表・交流会</p> <p>2024/2/12（月・祝）9：30～13：00 於：水島公民館第一会議室</p> <p>報告「海岸調査 in 通生海岸」</p> <p>報告者：岡山県立倉敷古城池高校 生徒（2名）</p> <p>参加者：25名（講師、スタッフ含む）</p> <p>※本会は、「令和5年度瀬戸内海における環境保全と利活用の促進に向けた理解醸成事業（環境省中国四国地方環境事務所）」と連携して実施した。</p> <p>②チャレンジワーク（中学生）の受け入れ</p> <p>地域貢献として中学生の職場体験を支援した。資料館づくりを題材に学びの要素を取り込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none">・8/29-31（火-木）倉敷市立南中学校 チャレンジワーク（4名） <p>③令和5年度瀬戸内海における環境保全と利活用の促進に向けた理解醸成事業</p> <p>環境省中国四国地方環境事務所の事業を受託し、国が進める瀬戸内海の環境保全と地域資源の利活用への理解醸成を図る取組として、近年消費量が減少しているクロダイ（チヌ）について、その美味しさを再認識し、消費拡大につなげることを目的に魚料理体験会の開催や、漁協・小学校へのアンケート・ヒアリング調査を行った。魚料理体験会とアンケート・ヒアリング調査をまとめ、地域資源の利活用の促進に係る情報発信のあり方の検討を行い、報告書を作成した。</p> <p>第1回 魚料理体験会「食べて考える“豊かな海”」</p> <p>2024/2/12（月・祝） 10：00～13：00</p> <p>場所：倉敷市立水島公民館 第1会議室及び調理実習室</p> <p>講師：森下倫年氏（岡山水産物流通促進協議会（おかとと）会長）</p>
-------------	---

	<p>参加者：25名（講師、スタッフ含む）</p> <p>※本魚料理体験会は、「夢&環境等支援宮崎記念基金助成事業」と連携して実施した。</p> <p>第2回 魚料理体験会「食べて考える“豊かな海”」</p> <p>2024/3/9（土） 13：30～16：30</p> <p>場所：倉敷市立水島公民館 調理実習室</p> <p>参加者：25名（講師、スタッフ含む）</p> <p>講師：森下倫年氏（岡山水産物流通促進協議会（おかとと）会長）</p> <p>クロダイの利活用に関するアンケート・ヒアリング調査</p> <p>漁協へのアンケート：10 漁協に送付し 8 件の回答があった（回答率 80%）</p> <p>小学校へのアンケート：11 小学校に送付し 8 件の回答があった（回答率 73%）</p> <p>ヒアリング：児島漁協（2024/3/5）、牛窓町漁協（2024/3/7）</p> <p style="text-align: center;">倉敷市立茶屋町小学校（2024/3/5）、倉敷市立長尾小学校（2024/3/11）</p>
--	---

③たより、年次報告書の定期発行、内容の充実

事業内容	<p>たよりを継続して発行した。110号から広告欄を設け、(独)環境再生保全機構のぜん息・COPD電話相談の広告を入れた。113号からカラー化して、ページ数を8ページに増やした。たより111、112、113、114号を発行。</p>
-------------	--

④HP、SNS、マスメディア等による情報発信の充実

事業内容	<p>みずしま財団の活動を周知するため、FMくらしき「みみみみずしま財団エコらぼ Friday」（毎週金曜日）、ブログ、facebook等による情報発信を行った。</p> <p>・FMくらしき「みみみみずしま財団エコらぼ Friday」毎週金曜 15:45～16:00</p> <p>毎週の担当者がそれぞれの活動やイベント案内等を発信した。第3金曜日は、みずしま滞在型環境学習コンソーシアムと連携し、副会長古川明氏と倉敷古城池高校生が活動報告を行った。</p> <p>担当</p> <p>第1・5週 塩飽敏史 理事・研究員</p> <p>第2週 福田憲一 代表理事・副理事長</p> <p>第3週 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム 副会長古川明氏、倉敷古城池高校生</p> <p>第4週 岡田雅夫 評議員</p> <p>・ソーシャルメディア（ブログ、facebook、Twitter）を活用し、効果的な情報発信を目指した。</p>
-------------	---

(3)「滞在型環境学習プログラム」の実施と保健活動等支援事業

2018年に立ち上げた「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」の事務局を担当し、モデルツアーの実施や研修受け入れ、観光プログラムづくりなどに取り組んだ。

環境保健分野は倉敷市の委託事業として呼吸リハビリ講習会を10回、自主企画で2回開催し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の地域への啓発、早期発見・治療に向けた取り組みを進めた。環境再生保全機構から委託を受け、「くらしき COPD ネットワーク」の活動をベースに地域での協働による本問題への取り組みの全国的な展開を視野に入れた協働マニュアルを作成した。

①滞在型環境学習プログラムの実現に向けたモデルツアーの実施

事業内容	<p>①みずしま滞在型環境学習コンソーシアム</p> <p>みずしま滞在型環境学習コンソーシアムの事務局として、県外中学、高校、社会人等の研修受け入れをのべ16件（718名）実施した。</p>
-------------	--

	<p><会議・シンポジウム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/24 (木) みずしま滞在型環境学習コンソーシアム会議 ・ 2024/3/16 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム運営委員会 ・ 2024/3/16 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム活動交流会 開催 於：倉敷市立水島公民館第1会議室 参加者 40名 <p><研修受入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/26 (金) 大津市立青山中学校 (140名) ・ 7/10 (月) 岡山理科大学附属高校国際バカロレアコース (オンライン授業 6/29) 10名 ・ 7/19 (水) 水島地域の金融機関 (26名) ・ 8/9 (水) 岡山県観光連盟 (5名) ・ 8/25 (金) 倉敷観光コンベンションビューロー (5名) ・ 8/28 (月) 日本環境教育学会鳥取大会エクスカージョン (12名) ・ 9/13 (水) 福島県立郡山北工業高校 (オンライン) 280名 ・ 9/29 (金) 岡山大学実践型社会連携授業 (9名) ・ 10/5 (木) 開智望中等教育学校 (茨城) 75名 ・ 10/11 (水) 下関市 (官民合同視察) 30名 ・ 11/19 (日) JICA 中国 水島フィールドワーク研修 (8名) ・ 12/3 (日) 岡山大学文学部日本史研究室 (20名) ・ 12/5 (火) 静岡県立清流館高等学校 (42名) ・ 12/19 (火) 岡山県内観光関係者 (10名) ・ 2024/3/8 (金) 水島コンビナートクルーズ (3/23の予行演習) 21名 ・ 2024/3/23 (土) 水島コンビナートクルーズ (25名) <p><岡山県立倉敷古城池高等学校との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/24 (水)、2024/2/7 (水) 水島プラットフォームに参加 ・ 7/29 (土)、11/18 (土) 水島バスツアー (水島コンビナート、藤戸合戦) の実施に協力 ・ 2024/3/18 (月) KT (古城池タイム) 活動発表会に参加
--	---

②小・中・高・大学、生涯学習等 講師派遣

<p>事業内容</p>	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団の職員を講師として派遣し、環境学習の提供、市民や学生など多様な世代が学ぶ機会を提供した (52件、その他大学の非常勤講師2件)。環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会として、水島地域内の小学校への出前教室プログラムを学校へ呼びかけた。</p> <p>林美帆研究員が、非常勤講師として授業を行った。 大阪産業大学 (前期) 佛教大学 (通信学部・前期/歴史学部・後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/20 (土) 岡山市立御南西公民館講座 (海ごみ) ・ 5/26 (金) 倉敷市環境衛生協議会総会での講演 (海ごみ) ・ 5/26 (金) 山陽学園中学校 (樹木の働き、SDGs ネットワークおかやま) ・ 5/28 (日) 岡山市立御南西公民館講座 (海ごみ) ・ 5/30 (火) 新見市環境衛生協議会総会での講演 (海ごみ) ・ 6/1 (木) 用水路ごみ調査の指導 (岡山市立御南西公民館、山陽新聞社)
--------------------	--

- ・ 6/8 (木) 倉敷市立水島小学校出前教室 (八間川)
- ・ 6/8 (木) 用水路ごみ調査の指導 (岡山市立御南西公民館、山陽新聞社)
- ・ 6/12 (月) 赤磐市立山陽東小学校出前教室 (海ごみ)
- ・ 6/13 (火) 倉敷市立水島中学校出前教室 (樹木の CO₂ 吸収量調査)
- ・ 6/15 (木) 岡山市立津島小学校出前教室 (海ごみ)
- ・ 6/23 (金) 倉敷市立水島小学校出前教室 (八間川の生きものしらべ)
- ・ 6/25 (日) 倉敷市立福田公民館講座 (海ごみ)
- ・ 7/10 (月) 一般社団法人岡山県計量協会・環境計量証明部会年会での記念講演 (海ごみ)
- ・ 7/16 (日) 海ごみゼロワークショップ (山陽新聞社、奈義町 FOS 少年団連盟、B & G 奈義海洋クラブ)
- ・ 7/18 (火) 岡山県立倉敷古城池高校 1 年生向け講義 (水島の公害とまちづくり)
- ・ 7/21 (金) 岡山県立倉敷南高校 ラーニングカフェ
- ・ 7/26 (水) 令和 5 年度ライフパークくらしき市民講座 (海ごみ)
- ・ 7/29 (土) 岡山県立倉敷古城池高校 バスツアーのガイド指導
- ・ 7/30 (日) 倉敷医療生協 道口川清掃活動の指導 (海ごみ)
- ・ 7/31 (月) 倉敷医療生協 玉島・浅口 14 支部合同学習会 (温暖化について)
- ・ 7/31 (月) 岡山県立玉島高校 スーパーサイエンスハイスクール (海の学習支援、レクチャー)
- ・ 8/15 (火) 中央大学 佐々木ゼミ (オンライン、海ごみ)
- ・ 8/20 (日) 海ごみ減量化作戦 (福田地区清掃活動) でレクチャー
- ・ 8/26 (土) 用水路・海ごみ回収ロボットアイデアコンテスト 現地見学会講師
- ・ 8/27 (日) 倉敷医療生協 道口川清掃活動の指導 (海ごみ)
- ・ 9/10 (日) 日本環境会議 仙台大会 分科会ゲスト
- ・ 9/26 (火) 岡山大学実践型社会連携授業事前授業 (水島の開発と公害)
- ・ 9/27 (水) 岡山医療生協 (水島の公害)
- ・ 10/5 (木) 笠岡・井原生協 合同学習会 (温暖化について)
- ・ 10/10~31 (毎週火曜日) 岡山科学技術専門学校・山陽新聞社 (海ごみ)
- ・ 10/21 (土)・22 (日) 倉敷青年会議所「遊ぼう・学ぼう in 六口島」(海ごみ)
- ・ 10/24 (火) 岡山市立吉備公民館 (フードマイレージ)
- ・ 10/25 (水) 倉敷市立中庄小学校 5 年生 (フードマイレージ)
- ・ 10/30 (月) 岡山県立倉敷中央高校 (環境再生のまちづくり) SDGs ネットワークおかやま)
- ・ 11/8 (水) 倉敷医療生協寄島支部 海岸清掃活動の指導 (海ごみ)
- ・ 11/18 (土) イオン倉敷チアーズクラブ (海ごみレクチャー、漁業体験)
- ・ 11/18 (土) 児島青年会議所 環境フォーラム パネリスト
- ・ 11/18 (土) 県立倉敷古城池高校バスツアーガイド・助言
- ・ 11/18 (土) 草莽の集い (オンライン)
- ・ 11/23 (木・祝) 10:00~11:30 自治体学校 in 岡山 現地分科会のフォロー研究会 (水島公民館)
- ・ 11/26 (日) 用水路・海ごみ回収ロボットアイデアコンテスト審査・表彰式 審査員
- ・ 11/28 (火) 倉敷市立第五福田小学校 (3 年生) (八間川)
- ・ 12/3 (日) 福田中学校 スポごみ企画 分別指導
- ・ 12/3 (日) 倉敷医療生協 水島支部 (マイクロプラスチック)
- ・ 12/7 (木) 福田南公民館 講座 (地域の歴史)
- ・ 12/10 (日) 倉敷医療生協 船穂支部 (水島の公害)

<ul style="list-style-type: none"> ・12/14（木）倉敷市立水島小学校（5年生）（水島の公害） ・12/17（日）岡山市立御南西公民館講座（海ごみ） ・12/18（月）岡山県立倉敷工業高校（2年）／SDGs ネットワークおかやま（水島の公害と未来） ・2024/1/11（木）「知事と一緒に生き活きトーク」（海ごみ） ・2024/2/21（水）倉敷市環境衛生協議会真備支部総会で講演（海ごみ） ・2024/2/29（木）新見ふるさと塾（高梁川上下流交流新時代へ） ・2024/3/10（日）寄島漁業体験レクチャー（総社ボーイスカウト）（海ごみ）

③大学・企業向け視察研修

事業内容	<p>漁業体験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/17（日）倉敷市環境衛生協議会 川辺支部 漁業体験（14名） ・12/15（金）倉敷医療生協 漁業体験（8名） ・2/17（土）寄島漁業体験ツアー（主催：大室欣久氏）（5名） ・3/30（土）寄島漁業体験ツアー（主催：大室欣久氏）（8名） <p>その他研修・ヒアリング受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/2（火）鳥取大学ヒアリング受入（2名） ・5/12（金）ソワニエ看護専門学校研修（亀島山）（28名） ・6/3（土）民医連中四国地協医療系学生のつどい 水島公害フィールドワーク（25名） ・7/23（日）第65回自治体学校現地分科会14「水島でカーボンニュートラルの取組を学ぶ」フィールドワーク（30名） ・7/31（月）県内高校社研部 あさがおギャラリー見学（6名） ・8/23（水）帝京大学ヒアリング受入（2名） ・10/4（水）倉敷医療生協 3年目職員研修（44名） ・10/20（金）倉敷医療生協 新入職員研修（41名） ・10/29（日）神戸市立小学校教育研究会社会科部（10名） ・11/4（土）～5（日）白石島 SDGs スタディツアー（サラヤエスビーエスと連携実施）（7名） ・11/21（火）仙台市市民文化事業団（せんだいメディアテーク）受入（見学&ヒアリング）（2名） ・11/29（水）長崎大学核兵器廃絶研究センターヒアリング受入（1名） ・12/20（水）香川民主医療機関連合会 研修（9名） ・3/19（火）南山大学ヒアリング受入（3名）
------	--

④人々が健康的に暮らせる地域づくり事業

- ・COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見・治療を目指す地域連携のしくみづくり

事業内容	COPDの早期発見・治療を目指す地域連携の取り組みとして、昨年に引き続き呼吸リハビリテーション講座を公害健康被害予防事業として実施、自主企画あわせて12会場で計251名と昨年よりも倍以上の参加があった。							
	2023年 呼吸ケア・リハビリテーション講座(倉敷市医療給付課委託事業:公害健康被害予防事業)							
		回	日付	曜日	内容	場所	呼吸リハ指導	協力者
切れど	1	7/17	月・祝	フライングディスク体験	水島愛あいサロン	大形篤氏	岡山県障害者フライングディスク協会	16

	2	9/30	土	フライングディスク体験	水島愛あいサロン	佐藤雅昭氏	岡山県障害者フライングディスク協会	18
	3	10/22	日	呼吸リハビリ体験	連島公民館	継田晃平氏		20
	4	10/29	日	呼吸リハビリ体験	福田公民館	佐藤雅昭氏		18
	5	11/5	日	スポーツウエルネス吹矢体験	水島公民館	藤原耕三氏	岡山県スポーツウエルネス吹矢協会	23
イベントでの肺年齢測定	6	7/2	日	三福学区ミニ健康展	広江憩いの家	萩山明和氏	水島保健推進室、三福学区愛育	45
	7	8/20	日	倉敷市健康づくり講演会	くらしき健康福祉プラザ	継田晃平氏	倉敷市健康づくり課	7
	8	9/17	日	くらしき環境フェア	福田公園	江草加南子氏		7
	9	10/14	土	あさがおギャラリー1周	あさがおギャラリー	萩山明和氏		6
	10	10/15	日	倉敷市いきいきふれあいフェスティバル	福田公園	藤原耕三氏	倉敷市医療給付課	50
	11	11/3	祝	JFE フェスタ	JFE スチール西日本製鉄所倉敷地区	藤原耕三氏	倉敷市健康づくり課	16
	12	11/22	水	一福学区ミニ健康展	福田南公民館	片山章子氏	水島保健推進室、一福学区愛育委員	25
2023 年度参加者合計								251

くらしき COPD ネットワークや環境再生保全機構の研修修了生である理学療法士 5 名・作業療法士 1 名に講師を依頼することができた。

講師所属・肩書

- ・ 片山章子氏：理学療法士 倉敷医療生活協同組合健康事業部、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 萩山明和氏：理学療法士 岡山大学病院 総合リハビリテーション部主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生
- ・ 佐藤雅昭氏：理学療法士 倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院リハビリテーション科長、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 藤原耕三氏：理学療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生、くらしき COPD ネットワーク
- ・ 継田晃平氏：理学療法士 倉敷中央病院、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修受講生
- ・ 江草加南子氏：理学療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修受講生
- ・ 大形 篤氏：作業療法士 医療法人誠和会倉敷第一病院、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修受講生

公害健康被害予防事業における地方公共団体実施事業の NPO 等との協働連携に向けたマニュアル等作成業務（環境再生保全機構委託 2 年目）

事業実施に係る協働連携のポイントやネットワーク形成のポイントを整理するために、ヒアリング調査を行い、倉敷市での行政と NPO 等との協働（くらしき COPD ネットワーク）での実施を事例に分析し、協働マニュアルを作成した。

組織運営

監査：5月16日に前年度監査を行った。

理事会・評議員会：理事会を6回、評議員会を2回行った。

6/3 第61回理事会

6/18 第26回評議員会（定時）

9/16 第62回理事会

2024/2/3 第63回理事会

3/2 第64回理事会

3/17 第27回評議員会（臨時）

受取会費・寄附

受取会費は 1,165,000 円であった。

受取寄附は 1,191,156 円であった。

執筆依頼

- ・ 『搏動』～153号「多視点性による公害経験の継承」（4回連載の①～④回）
- ・ 『倉敷の自然 115号』（倉敷の自然をまもる会）：「八間川調査隊」
- ・ 全国公害弁護団連絡会議第53回総会議案書

論文

- ・ 除本理史・林美帆 「困難な過去」をどう継承するか 岡山地方史研究 / 岡山地方史研究会 [編] (161) 24-27, 2023-
- ・ 除本 理史, 林 美帆, 藤原 園子 公害学習とツーリズム：岡山県倉敷市水島地区の取り組み事例 経営研究 = The business review / 大阪公立大学経営学会 編 74 (2), 1-14, 2023-08
- ・ 林 美帆 公害経験の継承と資料館のネットワーク-特集 JEC 仙台大会 環境と公害 53(3) 27-31 2024 年
- ・ 除本理史・林美帆 (2024) 「公害地域の再生と協働のまちづくり——岡山県倉敷市水島地区の事例から」『環境経済・政策研究』17(1) : 47-50。

学会発表

- ・ 2023年11月12日 除本理史・林美帆「公害学習とツーリズムを結びつける試み：岡山県倉敷市水島地区での取り組み事例」日本地域経済学会 第35回 札幌大会 北海学園大学
- ・ 2023年12月3日 除本理史・林美帆「市民のコンパッションとレジリエンスを培うために—岡山県における西日本豪雨と大気汚染公害の被災地をつなぐ試み—」日本災害復興学会 2023 年度静岡大会 常葉大学
- ・ 2024年3月13日 除本理史・林美帆「岡山県倉敷市水島地区における公害資料館づくり」パブリックヒストリー研究会 5周年記念大会 国士舘大学
- ・ 2024年3月17日 林美帆「真夜中の補講・特別編 ネガティブな歴史を、地域の力に変える?!」歴史フェス 名古屋大学

外部委員

- ・ 中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) 運営委員 (2017年~)
- ・ 岡山県河川整備検討委員会委員 (2013年~)
- ・ 岡山県環境審議会廃棄物部会委員 (2012年~、2022年副部会長)、2022年~政策部会)
- ・ 岡山県環境マネジメントシステム外部評価会委員
- ・ 倉敷市生物多様性審議会審議員 (2018年~)
- ・ STOP 温暖化くらしき実行委員会会長

- ・水島まちづくり協議会副会長
- ・公益財団法人 公害地域再生センター（あおぞら財団）評議員（2019年～）
- ・公害資料館ネットワーク幹事
- ・倉敷市古城池高校水島プラットフォーム委員
- ・日本アーカイブズ学会委員
- ・（一社）高梁川流域学校理事

以上